

10月31日(月) 建設新聞



## 擁壁に夢描き

### 第二阪和で現場見学会

大建協主催／高校生42人が参加

「擁壁に夢描き」。大阪建設業協会（奥村太加典会長）主催による高校生を対象とした現場見学会が27日、壱山建設（大阪市此花区）が施工する第二阪和国道・和歌山岬道路の工事現場で行われた。今宮工科高校の建築系2年生42人が参加。現場に築造された土木構造物などを見て回りながら、実際の現場の雰囲気や道路の基本構造などを学び取った。

生徒たちは、現場構内に設営された仮設アントで事業概要、道路の基本構造について説明を受けた後、2班に分かれ、建設中の第二阪和国道をマイクロバスから見学するとともに、光波測量機器による距離測定、多数アンカー作業固定説明、情報化施工のデモを体験。現場構内に築造された擁壁に夢を書き込む催しでは、生徒たちは思い思いに筆を走らせていた。

## 和歌山岬道路を工科高生が見学

大阪建設業協会は27日、高校生を対象とした見学会を開いた。府立今宮工科高（大阪市西成区）の2年生約40人が、第二阪和国道（和歌山岬道路）の現場を見学した（写真）。

生徒らが訪れたのは、同道路の整備事業のうち2016年度内の開通を目指す淡輪フンプ（平井ランプ間（7・6キロ））のうち、壱山建設が担当している孝子（きょうじ）地区（大阪府

### 大建協

岬町）の現場。同社担当者が道路の基本構造や現場の概要について説明した後、見学に移った。

施工管理体験では、光波測量やアンカー作業の工程について説明を受けた。トータルステーションと連動した転圧締め固め管理の様子なども見て、情報化施工の一端にも触れた。マイクロバスに乗り換えて現場内から

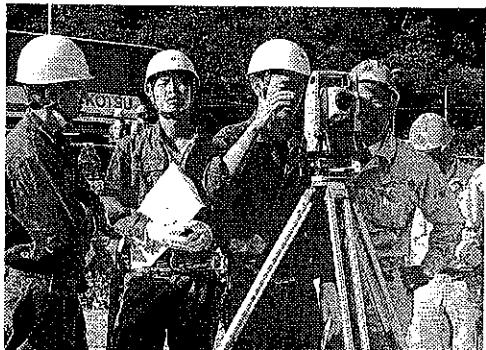
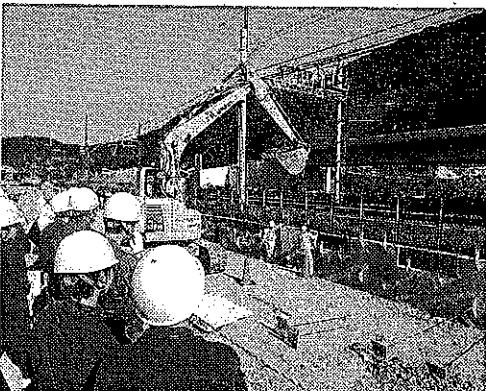
## 擁壁に将来の夢

建設中の路線を巡ったほか、擁壁に将来の夢などを落書きする「夢描き」にも挑戦した。

質疑応答では、「仕事に慣れるまでのどのくらいの時間がかかる」「仕事において大切なことは」「待遇は」などさまざまな質問が寄せられていた。

同社の壱山信次専務本部長は、「柔らかく、かみ砕いて説明する」とに力を置いた。こうした見学会を通じ、建設業に対する関心を少しでも抱いてもらえた」と話した。

和歌山岬道路は、大阪～和歌山間の国道26号の慢性的な渋滞解消を目的に整備が進められている。孝子地区周辺の工事は、近畿地方整備局浪速国道事務所が発注。壱山建設は現在「中孝子地区本線改良工事」「下孝子地区道路整備工事」「下孝子地区道路整備工事」の3件を施工している。



光波測量を体験

# 10月31日(月) 建設産業

大建協が  
現場見学会が  
**建築系の高校生42人参加**

大阪建設業協会は27日、和歌山県・岬町孝子で工事を進める和歌山岬道路中孝子地区本線改修工事を見学する。和歌山県・岬町孝子で工事を進める和歌山岬道路中孝子地区本線改修工事を見学する。

良他工事（施工）壱山建設の現場見学会を開催した。今回参加したのは校建築系建築専科2年生42名（内女性5名）と引率教員2名が参加した。

見学会は萩野和久事業本部営業部長が土木道路の基本構造、工事概要について説明した後、A・B班に分かれて、普段は目にすること出来ない大規模な工事現場を興味深く見学した。見学会後、生徒が「仕事において何が一番大切か」「今まで

大坂建設業協会は27日、和歌山県・岬町孝子で工事を進める和歌山岬道路中孝子地区本線改修工事を見学する。

良他工事（施工）壱山建設の現場見学会を開催した。今回参加したのは校建築系建築専科2年生42名（内女性5名）と引率教員2名が参加した。

見学会は萩野和久事業本部営業部長が土木道路の基本構造、工事概要について説明した後、A・B班に分かれて、普段は目にすること出来ない大規模な工事現場を興味深く見学した。見学会後、生徒が「仕事において何が一番大切か」「今まで

担当していた現場で一番規模が大きな現場、「仕事をする中で最も注意していること」などについて質問した。

工事概要是道路工工延長177.7m、路床盛土4万2800立方m、函渠ボックスカルバート、外側寸法H4.2m幅3.5m、内空寸法H3.1m、幅2.7m、R量12.18m、コンクリート量183立方m、直接基礎、橋台、フーチング底端～梁上端H10.3m地上部分H4.8m幅26.5m、R量25.68m、コンクリート量755立方m、直接基礎。工期は16年12月28日。

11月1日(火) 大阪工業

# 建設進む第二阪和・和歌山岬道路を存分に！

今宮工科高校生招き大建協現場見学会

一般社団法人大阪建設業協会（奥村太加典会長）主催による高校生を対象とした現場見学会が二十七日、壱山建設（大阪市此花区）が施工する第二阪和国道・和歌山岬道路の工事現場で行われた。今回は大阪府立今宮工業高等学校の建築系建築専科二年生四十二人（うち女子五人）と引率教諭二人が参加。南海電鉄本線に近接し、背後は山間の斜面地という難条件を克服しながら展開する土木構造物の数々を見て回り、一方の座学では事前に生徒から出された二十七にも及ぶ質問に丁寧に答える現場担当者の真摯な姿が印象的だった。

「県学金の総額は、今後、  
「脚りんも」の世界で  
一步足を踏み入れてほ  
し」と述べる壇田建  
設の壇田信次専務

建設現場をマイクロバスから観察。さらに、特設テント付近にエリアで丸に設けられた光波測量

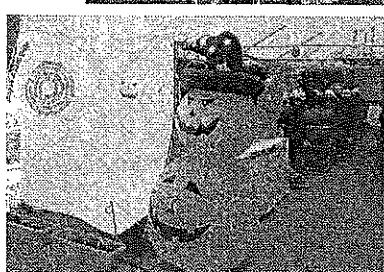
萩野部長は豊富な経験を通して建設業の素晴らしさを説いた



## 擁壁に思い思いの夢や願いを描く今宮工科高校の生徒ら



光波測量にもチャレンジ



ジャック・O・ランタンが生徒らを出迎え⑤。見学会後はハイタッチで見送った



い収入も保証されると語り、持つて答える萩野部長や各現場担当者の方々の姿は、生き生きとした感想がつた。歩き回る姿は、生徒たちにとって感動的だったようだ。建設現場に対するイメージを高めた見学会となつた。

多岐に亘る質問に建設の素晴らしさ説く壺山建設の各職員

「そういう存在が『役』では?」の問  
題、その人には高い  
い収入も保証  
される」と誇  
りを待つて答

建設現場をマイクロバスから観察。さらに、特設テント付近にエリアで設けられた光波測量、補強土壁の多数アンカーアンカー等の作業など情報化施工のデモンストレーション。

A black and white photograph of a large group of people, mostly men in hard hats and work clothes, standing in front of a large industrial building with a steel frame under construction. Some individuals are seated on the ground in the foreground.

重機をバックに一同記念撮影を行った

## // 月 2 日(水) 建設工業

### 今宮工科高生が 和歌山岬道を見学

大阪建設業協会

大阪建設業協会は10月27日、大阪府立今宮工科高校の建築系建築専科2年生42

人を招き、壱山建設が施工

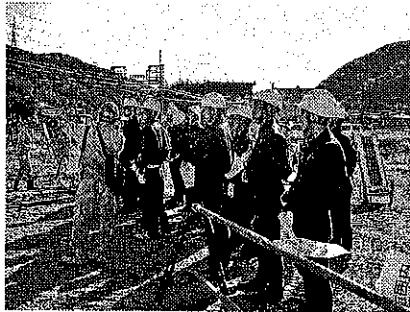
する「和歌山岬道路中孝子地区本線改良他工事」(大阪府岬町孝子)などの現場

で見学会を開いた。写真。

同社の壱山信次専務事業

本部長があいさつし、一行

は2班に分かれマイクロバ



スに乗車して施工中の道路を見学。バックホウやブルドーザーなどを使った情報化施工の導入状況を視察し、光波測量も体験した。

また擁壁に将来の夢を書き込んだ。

高校生は同社社員らに「仕事に慣れるまでどのくらいの時間がかかりましたか」「達成感を味わえるのはどんな時ですか」などと質問していた。

高校生が見学したのは、同社が受注・施工している同工事(進ちょく率98%)と「和歌山岬道路中孝子地区道路整備工事」(同70%)、「和歌山岬道路下孝子地区道路整備工事」(同15%)。いずれも近畿地方整備局浪速国道事務所が発注した。和歌山岬道路は大阪と和歌山を結ぶ国道26号の渋滞解消などを目的に整備が進めている。

八月一日(月) 建設産業



### 精華町の製造工場見学会

**建築インテリア創造科 生徒40人参加 大建協**

大阪建設業協会は2日、京都府・精華町で工事を進めていたオリエンタルベーカリー新工場プロジェクト(施工三和建設)の現場見学会を開催した。今回参加したのは堺市立堺高等学校建築インテリア創造科2年生40人(内女性19人)と引率教員2名が参加した。

見学会は勝見真哉オリエンタルベーカリー新工場プロジェクト所長が工事概要について説明した。

後、普段は見る事ができない現場の状況を目の前にした生徒は真剣な表情で、興味深く見学した。

見学会後、生徒が「工場を作るときと住宅を作るときの違い」「将来上級

建築士になるための心構え」などの鋭い質問の他、「朝はパン派か、それともハム派か」など、工場にちなんだユニークな質問に場が沸いた。

工事場所は京都府・精

華町精華台9-17-1  
18の敷地1万0039・  
11平方m。規模は食品製

造工場(パン製造)S造  
2階建延6949・87平  
方m(建築面積5684  
・9平方m)。建築物の  
最高高さ13・21m。指定  
適用)、指定容積率20  
0%、付属工作物サイロ  
(小麦粉)。工期は17年  
1月31日。

# 1月8日(火) 建設工業



市立堺高校  
オリエンタルペー  
カリ―新工場を見学

大建協

は2日、堺市立堺高校建築  
大阪建設業協会(大建協)  
市淀川区)が施工する「オ

インテリア創造科2年生40  
人を招き、三和建設(大阪  
市淀川区)が施工する「オ

リエンタルペーカリ―新工  
場プロジェクト」(京都府  
精華町精華台9)の建設現  
場で見学会を開いた。

同社の勝見真哉所長があ  
いさつし、建築概要や平面  
計画、会社のプロフィルな  
どを説明。「私たちがいつ  
も心掛けていることは『お  
客さまにどうて使える建物  
を提供する』『安全がすべ  
てに優先する』『意味や理  
由がある施工をする』の三  
つで、これを実践している」  
と語った。

その後一行は1階の床コ  
ンクリート工事や電気設備  
工事、2階事務所エリアの  
電気設備工事の様子を見  
学。床コンクリート工事は  
現在、学習中の課題である  
ことからその様子を真剣な  
まなざいで見ていた。また  
2階では設計図面を広げた  
まま社員の回りに多くの学  
生が集まり話し合っていた。  
高校生は同社社員に「辞  
めたいと思ったことは」  
「工級建築士になりたい。  
心構えは」などと質問、社  
員は「若いころは自分の仕  
事の意味が分からず辞めた  
くなつた。年数・経験を重  
ねるうちにそれを理解でき  
るようになつて辞めなかつ  
た」「資格取得に1500  
時間勉強する必要があるこ  
といわれている。一番大切な  
のは勉強中の折れない心と  
負けない心などと述べた。

新工場の施工はオリエン  
タルペーカリ―(大阪市浪  
速区)。規模はS造2階建  
て延べ6949平方㍍。設  
計・施工は三和建設。16年  
6月に着工、17年1月の完  
成を目指している。来春の  
工場移動を予定。

# 建設新聞

11月8日(火)

## 大建協が高校生現場見学会

堺高校の2年生39人が参加



高校生を対象とした大阪建設業協会（奥村太加典会長）主催の現場見学会が2日、京都府精華町で建設が進むオリエンタルベーカリー新工場プロジェクト現場で開催された。写真。堺市立堺高校建築インテリア創造科2年生39人（うち女子生徒19人）が参加し、普段見ることができない工事現場を見学回った。

当日は、施工を担当する三和建設の藤見眞哉所長が、コンクリート打設

や電気配線、石こうボード、ダクト配管など多岐にわたり説明。その後、2階部分（更衣室・食堂・打ち合わせ場所など）などを見学した。

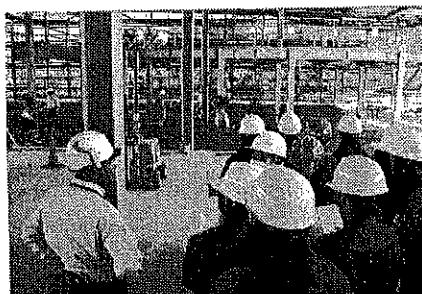
見学後の質疑応答では、「やりがいを感じるのは『はどういったところか』など、生徒からの素朴な疑問に、対応した三和建設の社員が「出来上がりたものが地図に載つた」と答えたときかな」と答えていた。

月 8 日(火)

## 大阪工業

### 堺高校の生徒は学研都市で展開される工場建設現場へ

大阪建設業協会主催による高校生を対象とした見学会が二日、三和建設大坂本店（大阪市淀川区）が設計施工する「株式会社オリエンタルベルト」（新工場プロジェクト）の工事現場で行われた。今回は堺市立堺高等学校建築インテ



リア創造科二年生四十人（うち女子十九人）と引率教諭二人が参加。異なる整備が進む国立国会図書館関西館など関西文化学術研究都市の一角でも何よりも大事にすることをつくる』などの意義を述べた。



まず工場内の階層構造について説明を受けた。新工場は延床面積六、九四九・八七平方メートル、建物最高高さ一三・二二〇メートル。規模・構造は鉄骨（S）造二階建て一棟。付属構造物・サイロ（小麦粉）。二〇一七年一月三十一日の工期で、現場は無炎害施工を続けて

工場1階東側で行われている打設状況を見る。床のコンクリート打設は、まず同プロジェクトをあずかる勝見真哉所長が挨拶に立ち、工事の紹介・

見学説明で、『つくるひとには高い精度が要求され、平滑さを確保するためのコンクリートの水の配合加減、そしてその水平度を保つた



新工場の完成パース

続いて、壁の材料に使用される石膏ボード等の解説や設備配管を設置する高所作業の見学後、二階に移動。二階は事務所や更衣スペースとなっており、ここでは設計図面の説明や作業足場を設置する様子を見学した。

一階に戻り、事前に生徒から寄せられた十七項目におよぶ意欲的な質問に勝見所長が自らの経験談も交えて回答。このあと、生徒代表から謝辞があり、最後に記念撮影で見学会を締めくくった。

最後に記念撮影に納まった

## 11月9日(水) 建設通信



### 堺高生徒が現場見学

大建協

ある工場建設現場を見学した  
II写真。

大阪建設業協会は2日、高校生を対象とした見学会を開いた。市立堺高校(堺市堺区)の建築インテリア創造科2年の約40人が、京都府精華町に

生徒らが訪れたのは、パン製造のオリエンタルベーカリー(大阪市浪速区)が同町精華台9に建設中の新工場。S造2階建て延べ約7000平方㍍の建物で、2017年1月の完成が目標。三和建設(大阪市淀川区)が施工を担当している。

コンクリート打設の様子や設備工事の様子などを見て回った後、質疑応答で生徒たちは「工場と住宅のつくり方の違いとは」「1日の作業時間は」「仕事の魅力は」「年収は」「女性はどれくらい働いているか」など、さまざまな疑問を寄せていた。